

## 日本の実験音楽

実施日：平成28年3月12日～21日 於：アルゼンチン, ウルグアイ

### ■派遣専門家



安永 哲郎 サウンドアーティスト

1999年エレクトロ・アコースティックユニットminamoの電子音楽者として活動を始め、2008年音楽や美術にまつわる企画制作プロジェクト「安永哲郎事務所」を創設。コンピュータや電子楽器、環境音などを用いた作品を制作し、東京を中心に、世界各地でライブ・パフォーマンスを行われています。

### ■事業概要

#### ●アルゼンチン



国立サンマルティン大学実験芸術センターでの講演、パフォーマンス



国立サンマルティン大学キャンパス内でのワークショップ



パピナ12紙からのインタビュー

#### ●ウルグアイ



Villa Serrana 第97番小学校でのワークショップ



総合芸術団体GEN共催の講演会



現地アーティストとの即興音楽デモンストレーション

### ■実施結果

実験音楽家である安永氏が、アルゼンチンとウルグアイで講演会とパフォーマンスを行いました。アルゼンチンでは、国立サンマルティン大学と共催で日本の実験音楽の紹介や背景にある文化に関する講演と、実験音楽家のフェデリコ・デュランド氏とのパフォーマンスを実施。ワークショップでは、聴き取った音を楽器で再現する演奏や即興演奏を行いました。ウルグアイでは、文化機関Hornero Migratorioとの共催で小学校でのワークショップと、文化機関GENとの共催でレクチャー・デモンストレーションを開催。両地で音楽関係者等との意見交換が行われ、今後の音楽フェスティバルへの参加等が話し合われました。本事業をきっかけに、複数のアルゼンチン音楽家との日本でのコンサート開催が実現するなど、具体的な交流が進展しています。